

KOBE MODERN CULTURE

音楽



★スウィング、スウィング

ノベニー・グッドマン楽団

2月7日(水) 18時30分 神戸文化
大ホール S席4,500円 A席
4,000円

35年のアメリカで、ス
ウィング時代をスタートさせ



ビーナッツ・ハッコー ルイス・トービン

の流れる
マン。時
・グッド
たベニー
生きたけ
もなお人
越えて今
の心に
々々続け
る彼のオ
ーケストラが神戸にやって
来る。

グレン・ミラー楽団の指

揮者を経験し、日本でも有
名なビーナッツ・ハッコー
の演出、ルイス・トービン
の素晴らしい歌声が、古き
良きアメリカを甦らせる。

★「シャガール賛歌」

夢と祈りにつつまれて

2月10日(土) 19時 ジーベックホ
ール2,500円

シャガールの絵にインパ
クトを受けた作曲家、林晶
彦が、シャガールの内面的
な心の部分にスポットを当
て、そのメッセージを伝え



林 晶彦氏

る為に作
曲したも
のをピア
ノ、シン
セサイザ
ー等で演

奏する。林氏は仏・イスラ
エルに留学しピアノ、作曲
を学んだ後映画音楽、CM
の作曲活動とピアノ演奏活
動を精力的に行っている。

音と光で表現する「愛と
幻想」の世界をお楽しみに。

★麻倉未稀、愛をうたう

バレンタインコンサート

2月11日(日) 15時 神戸文化大ホ
ール べア席6,690円 S席3
600円 A席3,090円

毎年恒例になった神戸文
化ホールのパレンタインコ
ンサート。今年は神戸にゆ
かりのある麻倉未稀を迎え



麻倉 未稀 会的で
フアツ
ブルな

夜を演出する。

パレンタインデー発祥の

イタリア中部テルニ市に伝
わる愛の伝説を映画化した

「愛の街テルニ」の2月14日
も上映される。チケットは

モロゾフ氏の協賛により、
可愛いチヨコレート付き
で、そのまま郵送もできる。

演劇



★蜷川カンパニー勢揃い

「近代能楽集」

2月8日(木) 27日(火) 新神戸
オリエンタル劇場 S席7,500
円 A席3,000円

三島由紀夫の原作で知ら
れる「近代能楽集」を蜷川



蜷川 幸雄
幸雄率い
る「蜷川
カンパニ
ー」が上

演ずる。

作品は「卒塔婆小町」と

「邯鄲」。日本の「伝統」と
「劇的なもの」が純化さ

れ凝縮された能の様式で聖
と俗、伝統と近代、東洋と

西洋がせめぎ合う中で生き

る人間の姿を見事に描く。

★お問合せ/電話2911-9999
新神戸オリエンタル劇場チケットセ
ンター

舞踊



★森下洋子・清水哲太郎

「白鳥の湖」全四幕

2月9日(金) 18時30分 神戸文化
大ホール S席7,500円 A席
5,500円 B席4,500円

チャイコフスキーの三大
バレエのひとつ「白鳥の湖」

を、松山バレエ団が新しい
演出で表現する。

国際的



全を愛の力
活動を統
ける森下
洋子のオ
デットと、
台本、演

出、振付全てを手掛けた清
水哲太郎のジークフリート
が、哀しく美しい愛の物語
を華麗に繰り広げる。

美術



★小磯良平受贈記念特別展

いま、ペールをぬぐ小磯
芸術

2月10日(土) 3月25日(日)
(休館日は月曜、2月13日(火)、
3月22日(木)、2月12日は開館)

一般300円 大高生200円
小中生150円

昭和63年12月16日、85才
の生涯を閉じた故小磯良平

氏のアド



「K夫人」リエに留
いた作品
が御遺族によつて神戸市に
寄贈され、そのコレクション
ンが一般に公開される。

広く知られている作品の
他に、抽象性の高い人物、
静物画等あまり知られない
一面を見ることが出来る。



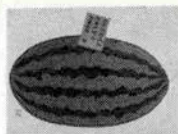
映画

★人間ウオッチング映画

「北京的西瓜」

2月17日・3月2日「ロポニコカ三宮」にてロードショー。一般1,600円 大高生1,300円

キネマ旬報邦画ベストテン第6位に輝いた大林宣彦監督の国際的人間喜劇。ある実話に基づいて映画化されたこの



「北京的西瓜」作品は日本人の八百屋さん夫婦がひよんなこ

とから中国人留学生と知り合い、彼らの為に全てを捧げる迄の心の軌跡を描く。

★愛と信念に生きた炎の女

「カミュー・クロード」

2月上旬より「アサヒシネマ3」にてロードショー。一般1,600円 大高生1,400円

ロダンの弟子であり愛人でもあったカミュー・クロード。その、数奇な運命に翻弄され続けた生涯と、彫刻家でもあった彼女の作品が注目されたのは死後40年が過ぎてからであった。

アター 3,100円

★猪俣文人バリトン独唱会

24日(土) 13時 兵庫県民小劇場 1,700円

音楽

★大阪フィルハーモニー交響楽団

ベートーヴェン名曲の夕べ

10日(土) 18時30分 神戸文化大ホール A席3,500円 B席3,000円

★コンセル・アイ・ジョイントコンサート

11日(祝) 14時 ビッコロシアター 800円

★ニューフィルハーモニー管弦楽団第3回定期演奏会

12日(月) 14時 神戸文化大ホール 4,000円

★中央吹奏楽団定期コンサート

12日(月) 14時 神戸文化大ホール

★赤松次郎とD・J・Oジャズオーケストラ第7回定期演奏会

16日(金) 18時30分 アルカイックホール 800円

★関西歌劇団室内オーケストラ

17日(土) 18時30分 西宮市民会館 A席2,500円 B席1,500円 学生1,000円

★ザウンド・ニューオーリスターズジャズコンサート

17日(土) 18時30分 ビッコロシアター

演劇

★マスクプレイミュージカル

劇団飛行船「シンデレラ」

1日(木)・2日(金) 10時 神戸文化大ホール

12日(月) 10時30分 14時 神戸国際会館大ホール S席2,200円 A席1,700円 B席1,400円

★「帰れ、いとこのシバ」

8日(木)・9日(金)・10日(土) 18時15分 11日(日) 13時30分 神戸文化大ホール 一般3,450円

★劇団未来(こども劇場)ミュージカル「さるかに合戦」

15日(木) 10時 15時30分 ビッコロシアター大ホール 1,900円

★劇団青い森「想い出のチェロソフ」

16日(金) 18時30分 17日(土) 17時30分 ビッコロシアター中ホ

カミュー

自己を貫いて

ユザベル

イザベル

アジャ

ニは原

作に共感

し、自ら映画化に乗り出し

たという話題作。

★またまた新コンビ誕生、

「俺たちは天使じゃない」

2月中旬より「朝日会館」にてロードショー。一般1,600円 大高生1,400円

★「レイマン」

「ツインズ」等が、名男優の初共演



カミュー 自己を貫いて ユザベル イザベル アジャ ニは原作に共感 し、自ら映画化に乗り出したという話題作。



によるコンビでのキラキラタリで話題に。 ささやかな男の夢

イル 3,000円

古典芸能

★桂木朝一門会

16日(金) 18時30分 神戸文化大ホール 2,900円

映画

★市民映画劇場

「マライフ・アズ・ア・ドッグ」

8日(木)・9日(金) 18時30分 10日(土) 14時・16時15分・18時30分 シーガルホール 一般1,000円

★こども名作劇場

「アニメ冒険大サーブ」

11日(日) 10時30分 13時30分 アルカイックホール 700円

美術



★大丸美術館 現代ヨーロッパ絵画展

2/11/2/6

奈良一刀彫展

2/8/2/14

期末絵画工芸即売会

2/15/2/20

信州・広瀬忠一 新作展

2/22/2/27

★そこら美術画廊

油絵で描く民家展 2/7/2/17

第28回日本刀剣展 2/14/2/19

高麗陶磁展 2/21/2/26

★農民アートギャラリー

第35回神戸二紀展 2/6/2/11

第16回青峰展 2/13/2/18

神戸写真倶楽部写真展

2/21/2/25

中島由夫50周年記念油彩画展

2/20/2/26

松尾隆展

2/20/2/26

★さんちかホール

第35周年神戸二紀選抜展

2/8/2/13

兵庫倶楽部創作展 2/15/2/22

★ギヤラリさんちか

第9回展相展 2/15/2/22

★海文堂ギャラリー

ジョアン・ミロ展 2/8/2/14

現代美術展「躍動する抽象」

2/15/2/22

高野卯港個展

淀川長治

映画評論家



ホフマン、コネリイ、ブロードリック
三時代にひろがったの花形三人

華麗共演・競演の……一九八九年作の
これはまたコワヤかたぶつルメットの作品

三人とも泥棒なのだ。祖父がシヨーン・コネリイ、父がダステイン・ホフマンそして息子が今や売り出してきた「トーチソング・トリロジー」のマシュー・ブロードリック。

× ×

問題は監督のシドニー・ルメット。この監督たるやニューヨークを描いては天下一品。その風景のリアリズム。それだけじゃありません。ニューヨーク・マンハッタンその下町の人間群像。イタリア、ドイツ、フランス、そしてアイリッシュ

ユ、これに加えてユダヤ人種。日本人のわれから見ればユダヤ人であろうがオランダ系であろうが、なににとやせん。ユダヤ人、これをジユウと呼び鼻がカキ鼻くらいは知っておる。マンハッタンマジソンを五分間あるいてたちまち七十八人くらいは数えられるであろうそのユダヤ人、いまだに、ちよいと気が



かりというのがアメリカだ。ところでルメット監督の「質屋」(一九六五)はマンハッタン南、ガード下の質屋のユダヤ人の話し。これが実に見事に演じられた。そのルメット注目の第一作「十二人の怒れる男」(五七)はマンハッタン下町の真夏の裁判所。窓の向うに今はなき汚いウルワースビルが見え、ここに集ったバイシンイン十二名それぞれに個性を見せての鮮やかさ。暑いのにその十二名の部屋の扇風器が止まったりして。「狼たちの午後」(七五)もブルック



▶祖父達が心配でもやっぱり血筋

▲親子三代揃って、マジメに大泥棒。

リンの銀行強盗事件。ところで初期の名作「女優志願(五人)」はニューヨークのブロードウェイの舞台女優志願の人生。とにかくすべてニューヨーク。「デストラップ・死の罠」(八二)この舞台劇映画化も主役は二名、マイケル・ケインとクリストファー・リールこの二人の共演・競演がスリル。これまたブロードウェイの劇

作家の舞台裏。

×

×

ルメット作品にショーン・コネリイがと、びつくりはドシロウト。御存知の「丘」(六五)「ショーン・コネリイの盗聴作戦」(七二)「オリエント急行殺人事件」(七四)。この監督とショーンは、知りすぎた仲間だぜ。

さてこの監督、いかにも常日ごろから固苦しく、正座で見た。ところがつい最近の「ガルボ・トーク」(八四)



マッシュプロデリック (右) ダスティン・ホフマン (左) ショーン・コネリ (中央) のニヤリと笑わせる大競演。阪急シネマにて上映中。

この人情こもるマンハッタン・スケッチはいささかの涙といささかの笑いで見せたよ。ルメットこのとき六〇歳、いかめしき肩をやさしく下ろした。ところが今回の「ファミリー・ビジネス」(八九)はルメット六五歳。ここに見るルメットの映画話術。映画趣向や、いかに。

×

×

なにしろコネリイは酒も女も強いが人生の「わが誇り」こそは泥棒稼業。息子のホフマンは、きっぱり足を

洗ってユダヤ人の娘(ロザンナ・デソート)と結婚。精肉卸売業を営むこの夫婦のあいだの息子(プロデリック)こいつがいつのまにか祖父と逢って大学も止め、なにやら祖父と接近しすぎる。親父のホフマン、息子に目がはなせなくなってきた。

×

×

この息子、祖父の景気いいホラばなしを聞くのが好きで、いろいろとあつて、祖父と組んで一〇〇万ドルの大仕事に乗り出すという。おとなしい親父よりも、でっかく生きる祖父に生きがい感するあたりが、おそろしやこの一家の血の道なるや。かくてこの祖父この息子の計画に心配のあまり親父もまたこの計画に加わるといふ親子祖父三名。

×

×

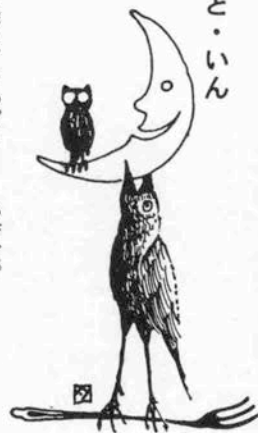
と、かく伝えればこれぞ珍らしやシドニー・ルメット監督ついにドタバタに手を染めしかと思われるは早や齧り。この映画おかしく見せてさに非ず、まさにこの監督の御趣味あらわす物盗りのスリルよりもそのサスペンスよりもマンハッタンに生きる人間たちのライフ・シヤドウの描写の巧み。酒場ひとつ、オフィスひとつ、すべて手アカで汚れたごとき生活の馴れ馴れ。葬式に集った連中が涙ながらに歌うはアイルランドの民謡「ダニイ・ボリー」。アイルランドとイタリアとそしてユダヤ人とがまんどちにもつれ、ニューヨークのマンハッタンが目にと迫る。

×

×

問題はこの三人。ダスティンの息子思いに祖父おもしろい、息子プロデリックに大先輩二人を向うに回しての手のこんだモダン・ヤングのいきなり振り方のその演技。かくてここにショーン・コネリ「インディ・ジョーンズ」最後の「聖戦」のパパ振りに変り、ここではニューヨークはマンハッタンの泥棒ジジイ。それがまことにあきれるばかりの名演。この映画、さていかに見られるか。マジに見てコメディを嗅ぎニヤリと笑っての名作でござんす。

びっと・いん



★お好み焼は、やっぱり

下町情緒あふれるお店で
長田商店街を西に入った
長田中央小売市場に「ふる

里」はある。場所は少々わ
かりにくい、「穴場中の
穴場」と店長の宮田睦次
さんは語る。ポリニュームたっ
ぷりなのに安いのは、下町
ならではの、メニューも豊富。
おすすめは、4〜5時間位
煮込んだスジとコンニャク
を使ったネギ焼、好奇心の
旺盛な方には「油カス」焼
がある。

「味にうるさい方は、是非
一度食べに来て下さい」と
宮田さんが語る通り、お好
み焼ファンには見逃がせな



この道19年の見事なテコさばき

い店だ。

■神戸市長田区長田中央小売市場内
A M 10:30〜P M 7 (日曜休)
☎ 576-3054

★セットメニューが



落ち着いた雰囲気のお店です

エティーに富んだメニュー

で神戸っ子の舌を楽しませ
てくれている「あこや亭」。
11月から従来のメニューに
加えられたセットメニュー
が今、大評判。お昼の天ぷ
ら・のじぎく(女性専用)・寿
司御膳・夜には、あこや・い
くた・ぬのびき・あじさい
(女性専用)・寿司御膳と多
種多彩に用意、お値段も1

000円/3400円とお
手頃なのが魅力的。特に人
気の寿司御膳には、寿司、う
どん、茶碗むし、天ぷら、デ
ザート…と盛りだくさんの
品々が並ぶ。パーティに宴
会にぜひ利用してみては。

■神戸市中央区旗線通7-1-11 田
■真珠布引ビル A M 11:30〜P M
10:30 ☎ 232-2400(代)

★宴会ならおまかせ

地下鉄長田駅をあがって
すぐのところにある「やま
しげ・神戸長田店」は、昨年
の11月28日にオープンした
ばかりの肉料理専門レスト
ラン。宴会に最適な店で、た
くさんのコースが用意され
ている。中でも「宴会パッ
ク3千900円コース」のしや
ぶしやぶが人気メニュー。
また同店では「名門会」(入
会金2千円で永久登録)と
いうユニークな制度があ
り、会員は通常の40〜50%
引きで食事することがで
きる。あなたも入会してみ



若き主任、宮田昇治さん

ては。

■神戸市長田区4番町6-2-12
北野ビル2F ☎ 575-0641
A M 11:PM 11 (無休)

★ウイスキー党のあなたを
大歓迎

三宮駅山側のステラビル
8階にある「ESP RIT
ステラ店」は「本格派トラ
ッドバー」をキャッチフレ
ーズに毎晩大盛況。

ウイスキーは400〜500円、



店長ご自慢のバーカウンター

カクテルは800円位で、様々
なお酒を取り揃えている。
「本当にウイスキーの好き
な方に、バーカウンターで
飲んでいただけるのが嬉し
い」と店長の原根重彦さん。
また料理のメニューも豊富
で、「カマンベールチーズ
フォンデュ」(800円)、「ピ
リピリこんにやく」(500円)
が大好評。

洋酒党にとって嬉しい店
だ。

■神戸市中央区北長狭通1-2-18
ステラ三宮ビル8F
P M 5:至A M 3 ☎ 322-3920

★明るい雰囲気のお茶店で
ジャズを

高速新開地駅西口をあがってすぐのところにある「ゴールマン」は心地良い音でジャズが楽しめる。店の名前もかのジャズメン、コールマン・ホーキンスから取ったそうで、JBLのスピーカーから



ヒゲの小管さんが迎えてくれる

★KOBE
debut spot

懐石料理

「宝壺」

北野町のブティックやアクセサリーショップが入ったビルの2階にオープンした「宝壺」は、いままでの日本料理店の常識を打ち消すかのようなお店だ。

「まさかここが」と思わせるような店構えで、店内にはジャズが小さな音量で流されている。座敷はなく、ししおどしも当然なし、懐石料理のイ



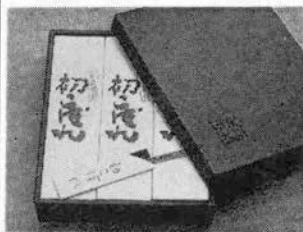
店長の松井さん（中）とお父上（右）

メージに合ったものといえは、店長の松井優八さんのお父上が描かれた水墨画だけ。ところが店の雰囲気と料理とが妙にマッチしているから不思議だ。それもそのはず、20代後半から団塊世代の感性に合

20 神戸市中央区北野町2-14
21 アンカーハウス2F（平日）
AM11:PM3 PM5:10（日）
祝祭日 AM11:PM8 水曜
日 定休日
252 3636

この度、登場したのが「初こぼれ」

春先に咲き、遊んでこぼれる「初こぼれ梅」にちなんでつくられたこのお菓子は、白小豆とかるかんの上品な風味がうまくとけあい、あっさりとしながらも、深味ある甘味が老舗の品格



1本900円（5月中旬まで発売）

を物語る。

5月中旬まで発売するので、お茶会や進物にぜひ使いたい。愛らしい姿は、一足先に春を呼びそうだ。

■明石市本町1-12-17
AM9:PM7
911 3635

★女性同士で楽しむ

中華料理

南京街にある「中国菜館海星（はいしん）」は、昼は休憩中のサラリーマン、夜は若い女性客でにぎわう。「ひき肉のレタス包み」（千200円）、「水餃子」（500円）、「エビのチリソース」（千600円）等には人気があるが、セットメニューも大好評。家族連れやグループの方には「フ



店長の松田拓治さん（右）

ファミリーセット（1万円）、アベックには「ペアーコース」（4千円）と、納得のいく値段で存分に楽しめる。陽気な女性グループ、デートにもってこいのお店だ
■神戸市中央区元町通2-12-2
AM11:30 PM3 PM4:30
PM9（水曜休）
331 4139

ポケット ジャーナル



★六甲アイランドに

「海の広場」ができる

東灘区の沖合に浮かぶ六甲アイランド内に、各種催事を開催できる施設が整備されることになった。

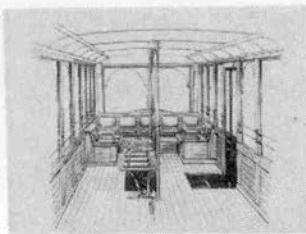
場所は新交通マリナー駅西の5.5haの広場で、敷地を3部分（風の丘、緑の丘、長期催事開催スペース及び駐車場）に分ける計画となっている。

そのうち、「風の丘」は仮設ホールを整備した市民の文化活動の振興に、「緑の丘」は芝生張りの広場でイベント、レクリエーションに各々使用される。

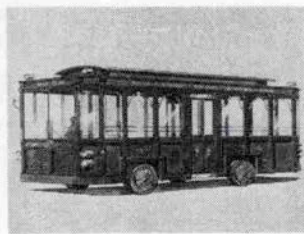
「予定では、3月24日より来夏までの短い期間だが、大いに市民に利用してほしい」と市経済局では話している。

★ループバスがお目見え

この春、レトロ調のループバスが神戸に登場する。バスの車体は長さ6・99m、幅2・29m、高さ3・



ループバスの内装



ループバスの全型

16mで定員は29人。まず4台が製作される。

基本的なルートは、北野、メリケンパーク、旧居留地、南京町といった主要観光地と、新神戸、三宮、中突堤等のターミナルをループ状に結ぶ予定。

正式な運行開始日時、料金等は未定だが、グリーンを基調としたレトロ調デザインのパスが、新しい観光名物となるよう期待されている。

★小島輝正文学賞が設立

神大名誉教授だった故小島輝正さんにちなんで「小島輝正文学賞」が、この度設立されることになった。賞の対象は、昨年西日本で発行された同人雑誌か、自費出版の単行本に発表された小説、エッセイに限られている。

選考委員は川崎彰彦、北川莊平、島京子の3氏。

受賞者へは小島輝正著作集全5巻と、賞金10万円が贈られる。

応募締切りは3月末日、授賞式は小島さんの命日である5月5日を予定している。

応募、推薦は、〒658神戸市東灘区住吉山手8-1-71 小島種子さんまで、作品を3部郵送のこと。

★ヴィンテージなビルを目

指したコーナーハウスDO北野坂にあるコーナーハウスDOが日本建築学会発行の「作品選集」の掲載作品として近畿地区の候補作品450点より代表作15点のうちの1点に選出された。

誕生日ありがとう運動

共に生きる

先日有料老人ホームに知人を訪ねました。丘の斜面を利用して建てられた豪華なマンションのようです。内部もなかなか立派で、入居者も元気に優雅に暮らしておられますが、私にはある違和感の湧き起こるのを禁じ得ませんでした。老若男女入り混って暮らすのが人生であるのに、老人ばかり集まってきたら。しかし現実では、二世代や三世代の同居は難しく、高齢化社会に伴う寝たきり老人の増加によって、家庭介護の困難さが訴えられています。

老若男女入り混って共に生きることの自然さ、その必要さを痛感したわけです。最近テレビで障害者に関する番組で、目の不自由な年配の方が次のように言っておられました。「昭和20年の敗戦を転機に、不具廃疾という言葉がなくなり、私達も一人前に認められるようになりました。しかしあまり気を遣われますと、かえって気づまらなくなりますので、自然に振るまえよう、一緒に生きていきたいと思っています」

人間は高齢になると耳・歯・足や目に障害がでます。障害は決して自分に関係のないことではありません。障害のある人もない人も、共に生きることこそ、ノーマライゼーションの精神であります。

誕生日ありがとう運動本部

651神戸市中央区御幸通8-1-6

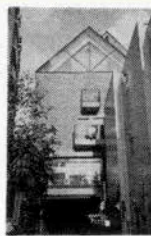
神戸国際会館1階 郵便局の隣

☎078-2331-2114



当ビルは、大変珍しい構成で地下1Fより5Fへあがるほどに床面積が広くなるというダイナミックさ。設計者船橋昭三氏（大林組（株）設計部）も今後絶対に建ち得ないと断言するオリジナリティと高技術が自慢の作品。

「年を経る度に味わいを深める欧州建築物のようにしたかった」と建築主南青柳の宇津専務は語っている



ダイナミックな設計

★上川庄二郎写真展

機関車を愛し続けて神戸市企画調整局調査部長の上川庄二郎さんが、1月8〜30日まで、三宮・六段で蒸気機関車の写真展を開き、好評を博した。

今回は1975年に上川さんが出版した写真集「汽車の詩」から約20点が展示され、中には気に入った作品を買いたい人も。

「汽車好きが高じて、写真の魅力に取りつかれてしまいました。一生、機関車を撮り続けることになるでしょう」と笑う上川さん。

なお、同ギャラリーでは2月1〜27日まで「北の大

地に蘇ったC62を追って」と題した故原元富雄さんの個展を開催する。

山菜料理六段 中央区琴

緒町5-4-5 三翠ビル4

F (JR三宮山側) 電話23

1-0406 (水休)

★「神戸っ子」に良き

ライバルが誕生

1975年1月に創刊した「明石新聞」が、創刊15周年を迎えた本年1月号を機に、月刊タウン誌「明石神戸」として新しく生まれ変わった。



明石から新風を

「明石と神戸の架け橋と

なりつつ、地域文化の向上に向けて広い視野からの誌面作りをしていきたい」と

友野収編集長は語っている。強敵の出現に「神戸っ子」も負けてはいられない。



上川さん（左）と六段主人の山田さん

★出会いのチャンス

独身男女約100名を集めて「バレンタインカップリングパーティー」が行われる。2月18日（日）午後1時より新神戸オリエンタルホテルオーパB1「ピア39」にて、会費は1万円となっている。

なお、当日は予約制なの



Take A Chance

でブライダルむさし 120-1110634まで事前連絡のこと。担当中西さん。

★ニッカより新発売

「オールドモルト」

ニッカウイスキーの新製品「オールドモルト」が、



自信の新製品が登場

2月8日より市場へお目見えする。

アルコール度数43%、原料は大麦芽芽100%で、飽きのこない味わいと飲みやすさという特徴をもっている。価格も2450円とお手頃なので、親しまれそうだ。

図書ガイド



ボンディーア
日下野良武

学生時代に訪れたのを機に、その後移住するに至った著者が、その生活体験を踏まえ、精神的にも地形的にも豊かなブラジルを肩の凝らない文章で紹介する。世界の債務国、地球の裏側の国とブラジルを呼ぶことに強く反発を感じる著者の世界観が伝わってくる。また、日伯の比較文化論として読んで面白い。

（毎日新聞社刊1200円）



異国の街にて
伊丹 公子

詩人であり、俳人でもある著者の1979年9月間の旅の記。「旅は日常の延長」と書いている著者が、無限の好奇心を持ちながら、異国の街へ馳せる思いが伝わってくる。また、本の前半を飾るグラビア写真は、夫である三樹彦氏の手によるもので、本文ともうまくマッチしており、読者の目をも楽しませてくれる。

（冬樹社刊2500円）



神戸グルメ
大百科
神戸新聞マーカー
ティンダール
編

神戸界隈を紹介した評判の高いガイドブック、「ワンドラフ・コウベ」の別冊として出されたのがこの本。「ワンドラフ」に比べ、グルメスポットを中心に、かつ徹底的に取材しているのが特徴で、写真も大きく豊富で、文章も多い。神戸のグルメスポットを知りたい方には必携の本。

（神戸新聞総合出版センター刊880円）

★愛称は「マジカル・

ジャーニー」

4年後の1994年のオ
ーブンを目指して「神戸レ
ジャーワールド」の構想が
決まりつつある。

事業計画を含めた最終構
想は、来年初めに決定の予
定だが、施設の愛称がこの



完成イメージ図

ほど「マジカル・ジャーニ
ー」と決まった。

この愛称は、「21世紀は
文化と対話がテーマとな
る。そこで、主要な国や都
市がそれぞれ一番輝いた時
代を再現し、旅へのあこが
れ、ロマンをかきたてる演
出」をもとに名付けられた
もの。

神戸らしさを表わすため
園内には大きな運河や海が
造られ、船でパビリオン巡
りが出来るなどスケールも
大きい。

★桐さとみ後援会

里親運動にチャリティ

12月23・24日に、クリス
マスのデイナーショーを北
野異人坂で開いた桐さと美

は見事な金色の菜の花が
揺れていた風景に出合っ
たのである。ある時、日

「灘の生一本」といえ
ば銘酒の代名詞である。

何処だったか「菜の花
や月は東に日は西に」蕪
村」とあり、摩耶山にて
詠めるとあった。蕪村は
江戸中頃の俳人（一七一
六―一八三）である。その
頃、摩耶山に登れば一帯



「灘五郷」のこと

「灘の生一本」といえ

ば銘酒の代名詞である。
何処だったか「菜の花
や月は東に日は西に」蕪
村」とあり、摩耶山にて
詠めるとあった。蕪村は
江戸中頃の俳人（一七一
六―一八三）である。その
頃、摩耶山に登れば一帯

さんが、愛の募金を聖誕祭
にふさわしく、当夜のお客
様と呼びかけた。

後援会の大牧さんが、さ
っそく当夜の愛の募金10万
円を家庭養護促進協会の橋
本明事務局長に、12月26日、
月刊神戸つ子編集室で手渡
し里親運動に協力した。

われた訳だ。

そして「灘の生一本」
が誕生して、全国に雄名
を馳せるのである。その
酒処「灘五郷」は上灘三
郷（深江・大石）と西宮、
今津を加えての酒造地帯
のこと。なぜ「灘」と呼
ばれるようになったかに
ついては詳らかでない。

元来「灘」とは「風波
が荒く航海の困難な海」
だが、神戸の灘は平穏な
海に面した陸である。こ
の「灘」の銘醸を生んだ
のは宮水と谷米だとい
うが不思議な事だ。△Y△



桐さとみさん（中央）を囲んで

● KOBE POST

★第3回・KOBÉ国際映画フェ
スティバルが今年は5月28日から
開催されます。テーマは「異文化
との出会い」。女優の栗原小巻さ
んをゲストに迎え、盛りだくさん
の企画が進行中。「神戸」に映画文
化を、連絡協議会〒650神戸市中央
区海岸通2-4-17/神戸映社協
会内078(33)6638

★コスモス文学の会 〒852長崎市
金堀町35-11)では、コスモス文
学新人賞作品を募集。小説、ノ
ンフィクション、童話、現代詩他
10部門に亘って。☎09558(61)
8784

★徳島のタウン誌「あわわ」(編
あわわ)が移転。新住所は、徳島
市福島1-2-18 RIVAGE
3F ☎0886(54)3824
FAX0886(26)5629

★「あけぼの会」(阪卒中後遺症
者友の会)の山本博賢氏が、12月
に「阪卒中で人間やめられるか」
(神戸新聞出版センター)を出版。
2月には、後遺症者ら95名と共に
沖縄交流の旅へ。〒655神戸市垂水
区塩屋町9-30-21 ☎078(751)
0686

★社団法人家庭養護促進協会(橋
本明事務局長)が、3月4日(日)
チャリティ映画会「風の又三郎」
を神戸文化大ホールで開催。☎0
78(31)5046

★神戸出身で長野県穂高町在住の
版画家斎田英一さんが、2月27日
3月5日迄、銀座越後屋美術サロ
ンで個展を開催されます。

★有限会社オフィスJUNKO
(工藤純子代表取締役)が、2月
に2冊目のファッション販売向け
のマンガマニュアル「チェリッパ
ロッサム物語Ⅱ(青春社刊)」を出
版。〒330大阪府北区西大宮6-1-3
11梅田ベール1 ☎06(354)
2173 FAX06(354)2174

★丹波の美酒を愉しむ「小鼓金」
が、2月2日(金)に三宮「千代
官」で、節分前夜祭として開かれ
ます。会費7,000円/年会費
1,000円。「月刊神戸つ子」
小泉迄。

愛読者のためのコミュニケーションサロン



神戸っ子倶楽部新会員 継続会員ご案内

■神戸っ子倶楽部では、ただ今会員を募集しています。会員の方には「月刊神戸っ子」を1年分お届けします。また、神戸っ子倶楽部の会報として、「月刊神戸っ子」の誌面上に、「神戸っ子倶楽部ニュース」を毎月掲載、会員の動きなど様々な情報を提供します。さらに年2回、文化性の高いイベント（コンサート、美術展、演劇など）に特別割引または無料でご招待いたします。年会費（入会金を含む）は1万円です。

神戸を愛する人たちのカルチャークラブ「神戸っ子倶楽部」。あなたもご入会になって豊かな神戸っ子ライフをお楽しみになりませんか。

会員の方は有効期限をお確めのうえ、継続会員として年会費をお納めください。

□入会申込・お問合せは——

〒650 神戸市中央区東町113ノ1 大神ビル9F
TEL 078-802-3531
FAX 078-331-2795

★Kobecco club 会員情報

文楽 人形浄瑠璃を1割引で御優待！



新版歌祭文（昼の部）

3月2日（金）神戸文化ホール中ホール

昼の部 午後2時～

夜の部 午後6時30分～

1階席 3,190円→2,871円
2階席 2,670円→2,403円（全席指定）

恒例、文楽神戸公演の季節です。今年は、近松作品の中でも異色作といわれる傾城反魂香、新版歌祭文（昼の部）、又楽しい二人三番叟、そしておなじみ菅原伝授手習鑑、（夜の部）が上演されます。又、開演1時間前には40分間の見どころ聴きどころをしてくれる文学教室や、文楽人形写真パネルプレゼント等盛りだくさんな内容で、どなたにも楽しんでいただけます。当日、チケット受付で当会員証をご提示ください。1割引のご優待価格でご鑑賞できます。



アルルカン（油彩）

♥大人気「シャガールのシャガール」展 会員様に入場券プレゼント

公開前から、かなりの注目を浴び、公開後も大人気を博している「シャガールのシャガール」展（県立近代美術館主催）のチケットをプレゼント。出展総数約150点のこの大回展、油彩数点をのぞいては、本邦初公開のものばかり。色彩画家として、世界中に愛されたシャガールのこのコレクション、まだ未体験の方には最後のチャンスです！

■上記のチケットを御希望の方は、電話で申し込みか又はハガキに住所・氏名・電話番号を記入のうえ、
〒650 神戸市中央区東町113-1 大神ビル9F
月刊神戸っ子 ☎078 (331) 2246まで



第8回

有馬の舞姫

有井 基 — Hazime Ariti —

△フリーライター△

大阪が「新世界の歌姫」叶麗子やったら、神戸は、な
んちゅうても「有馬の舞姫」川路ちかげやで。

こんな評判に送り出された形で、有馬ヘルセンターを訪ねた。平日だったが、有馬温泉最大の大浴場が売り物だけに、結構にぎわっている。専属歌劇団の公演は毎日午前十一時半と午後二時半の二回だ。しばらく部屋でくつろぎ、午後の部開演が迫ったので、演芸場へ降りた。三百二十畳敷きの客席は、もう七割ほど埋まっている。



平日の昼間にもかかわらず、にぎわいを見せている舞台

あでやかな立ち姿は踊るというより、舞うという表現が似合う



売店からビールやおでんを持ち込んだ男性や、湯上がりで寝そべっている婦人、缶ジュースを飲み干してひたすら開幕を待つ体のお年寄り……とさまざま。そのざわめきの中に、踊りと歌謡ショーだけが目当て、という人が何人あるやら。

定刻カッキリ、幕があいた。音楽に乗って踊りが始まる。演目は

「関東流れ節」

「福寿草」

「梅の寿」

「祝い酒」

間宮 千浪

若葉 五月

榊原 大介

川路ちかげ

正直いって、おどろいた。みんな、すごくマジメなの



「お客様の様々な思いと、どうつき合えるか。そのことに意識を集中します」と吉糸さん



熱心なファンからの差し入れも飛び出す。

だ。昭和三十年代に三宮の「踊子」や福原の「曲線」で歌謡曲のいい加減な当て振りにクラッカーを鳴らしていた感覚からすれば、これはもう「芸の世界」である。

客席は敏感だ。やがて、かけ声がかかる。無表情だったお年寄りのタッピング（指先でテーブルをたたく動作）が曲のリズムと合う。しゃべりを止めたグループから手拍子が出る。十七分経過。エンジンが暖まったところで「待ってましたアノチーちゃんノ」

全身にためていたものを一気に吐き出すようなかけ声と口笛。芸者姿の、川路ちかけ登場である。

へ白き荒波 ヨイショと越える

きようはお前の 晴れの門出だよ

踊る、というより、舞う。スポーツ選手でいえば、体の切れがいい。だから、腰が決まっている。スラリと立っても、スッと沈めても、袖と裾さばきが美しい。手の指先まで張りつめた神経が、あたりに放射して、目に見えない虹が立つ。

終わると、ステージは一転してマンボ調のフィナーレ

に。ここでも神招ぎの餅花もちばなを高々とかざして、ムダをそぎ落とした伸びやかさを見せた。技術はうまいのに舞台が大きくならない人の中で、どうして、この人だけが舞台たいがばえするのか。

歌謡ショーは見ずに、川路さんを部屋へ、いざなった。舞台での印象からすれば、ずいぶん小柄である。

差し出された名刺は

「若柳流 師範 花柳吉糸きい」

つまり、本格派なのだ。長崎県作世保市生まれ。六歳で日本舞踊藤間流に学び、二十三歳まで内弟子をつとめた。有馬に来てから二十六年になる。入団当初は人手不足で、ドラムをたたき、歌をうたい、踊る「一人三役」もやったという。

「古典と遠ざかっていますと、どうしても楽に踊ってしまうんです。だから、一から、やり直そうと……」

十年ほど前、同僚の神原大介さんを通じて夏目俊二さんの「劇団神戸」と接触、パレエのレッスンを三カ月受けたとき、舞台を覗いてから憧れのマトだった若柳吉金君



舞台を毎日見に来てくれるというファンに気軽に声をかける。
そんな人間的な温かさが人気の秘密

しく、芸の道では、これほど厳しい人はいない、といわれる吉金吾さんが、自らのイメージで名付けたという「吉糸」をホメちぎる。これは吉金吾さんの、ふところの深さだろう。

「いま、日本の舞踊界で、人の心をガツとつかんで、パツと出来てしまう人が、どれほどあるか、芸は心です。私は、あの人から学ぶ時があります。大衆をあなどってはいけない、社会の反映としての客席を喜ばせることが出来なくて、なんの芸能か、と」

ちかげさんというべきか、吉糸師匠と呼ぶべきか。どっちにしても彼女は、足をお楽に、といっても正座の膝を崩さない。心身ともに、崩すのがキライなのだ。

それでいて、にこやかにいう。

「人生の、いろんな思いを持って（お客様は）おいでになっていきます。その悲しい思いや、楽しい思い出や、さびしい日ごろのお気持ちと、どうつき合えるか。私たちは、そのことが真剣勝負なんです」

つい下世話に、これまでの苦勞は？と聞いたら「……」と視線を宙に舞わせて、申しわけなさそうに「ありませんね」という。本当に苦勞と立ち向かって来た人は、大仰に苦勞を売りものにしない。並みの苦勞を、苦勞と感じない場合もあるだろう。

「私は、色気がないので……」と、はにかんだような笑いを洩らす。そこがまた、いい。ファン受けをねらい過ぎた役者は消えるが、自分を磨くことに忠実な役者は、ひとりでファンがつく。師の吉金吾さんも

「私のところへ週三回、お稽古にみえますが、玄關までファンの人がついて来ます。来るたびに、あの人は、お手伝いに徹して、私のお白粉は、ずっと彼女が練ってくれます。会の時などは、役柄に合わせて色を溶いてくれますし、とにかく心くばりの細やかな人ですね」

だから、三年前には後援会（石井一二会長）も結成された。ファンの熱狂ぶりも並みではない。「私、定期（電車の）買うてんねん」という北区藤原台の鈴木光枝さん。

さんに、やっとめぐり会えた。入門を許された時の感動は今も日々新たである。

その「恩師」吉金吾さんの証言――

「大衆芸能の匂いを体につけていればいるほど、本筋の踊りをしたい、と切実に考えたようですね。おいでになった当初は異和感があったのか古典コテンしていましたが、四、五年前でしょいか、大衆といっしょに学んで来た道も大切にしなければ……。自分で卑下することはありません。と申しましたら、パーッと水に帰ったように生き生きと致しましてね。二年前の私のリサイタルで「お力」を踊らせたのですが、廓で育った薄幸の女や、あばずれで世間に逆って生きる女を、あれだけ踊れる人は、関西では他にいないんじゃないでしょうか」

人の気持ちにくみとることにかけては、これほどやさ



十年前から毎日通っている兵庫区石井町の谷昌子さん。

「お人形さんみたいや」と、この日も、かぶりつきで見
ていて、手編みのセーターを差し入れた尼崎の木村信
幸・鈴江さん夫婦。そして、二十五年前からのファンだ

という北区山の街の山田貞子さん（八一）は

「先生の人間的なところ、情にもろいお人柄に惚れこん
で通いつめております。ちよっと病氣してから、今では
三日に一度になりましたが…」

こうした人たちが、頃合いを計って大衆風呂の入り口
で、ちかげさん待っている。洗い場で、ちかげさんの
席をあげ、ぐるりを取り巻いて、待ったりもする。背中
を流す順番も申し合わせているという。

「ありがたいやら、申しわけないやらで恐縮している

んですが、この人たちに支えられているんだと思うと、
少々の熱があつたりしても公休以外は休めないんです。
だから、郷里へも長いこと帰っていません。」

それも勉強、と割り切っているが、それだけ余計に、
責任も感じる。

「今は、私しか踊れない演歌を深めたいとねがってい
ます。お客様の人へへの思いと重ね合わせて踊りたい、
と」

一時期は迷いのあつた大衆芸能の世界に、いまは、ふっ
切れた自分を再発見して、輝やいている。何より好物の
コップ酒を、グイッと飲み干す時の、満ち足りた表情が
目に浮かぶようである。乾杯！